

第60回静岡県公衆衛生研究会 第4分科会

浄化槽法等に基づく業務に関する 手順書の制定

環境局生活環境課

○野田岳郎、赤堀優香里、志村真紀
植田敦子、杉本万里子、田中喜久夫
大坪政夫

はじめに

～R3 手順書なし 各HC独自の運用



R4 各種手順書を制定



事例1

浄化槽保守点検業 行政処分基準

同業 登録事務・監視指導要領

事例2

浄化槽台帳管理マニュアル

事例1 行政処分基準・登録監視要領の制定

[背景]

公益通報 (浄化槽保守点検業者の登録条例違反)



立入検査



行政指導



行政処分

(1か月の業務停止)

統一的な監視ルール
処分基準がない



都度HCと協議



時間がかかる



他県に相談

事例 1 行政処分基準・登録監視要領の制定

[目標]

1 登録事務
監視指導 ▶ **全HC共通の
手順策定**

2 行政処分 ▶ **処分基準の
文書化**

事例1 行政処分基準・登録監視要領の制定

[主な制定作業]

ポイント1



- 公開することで行政の手の内を明かす
[例：監視の頻度]
- 処分基準を公開しておくよう努めること
(静岡県行政手続条例)

登録事務・監視指導 と 処分基準
を別の文書にする必要あり

事例1 行政処分基準・登録監視要領の制定

[主な制定作業]

ポイント2 課題の解消



公益通報の対応事例を活用

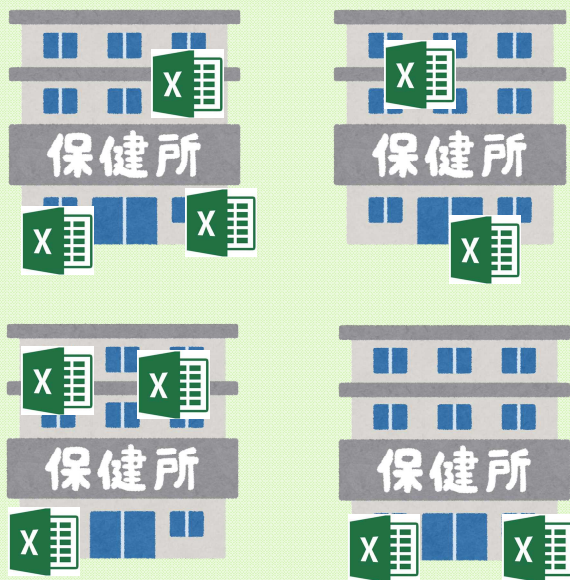
- **最悪のケース**を**想定**したルール作成 登録から処分まで
- **公正公平**な処分基準 他県調査

事例2 浄化槽台帳管理マニュアルの制定

[背景]

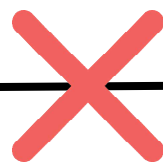
法改正によりR4年度末までに台帳整備が義務化

各HCの独自管理

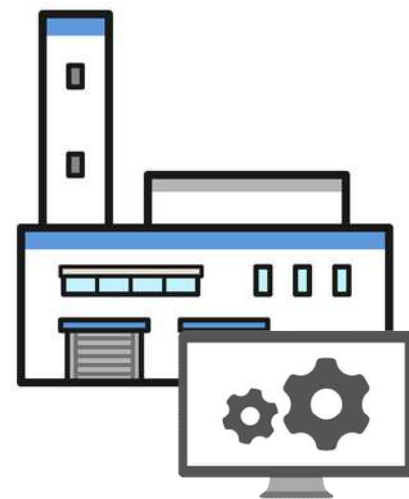


仕様の異なるエクセル台帳

法定検査の情報



指定検査機関



システム台帳

啓発活動履歴



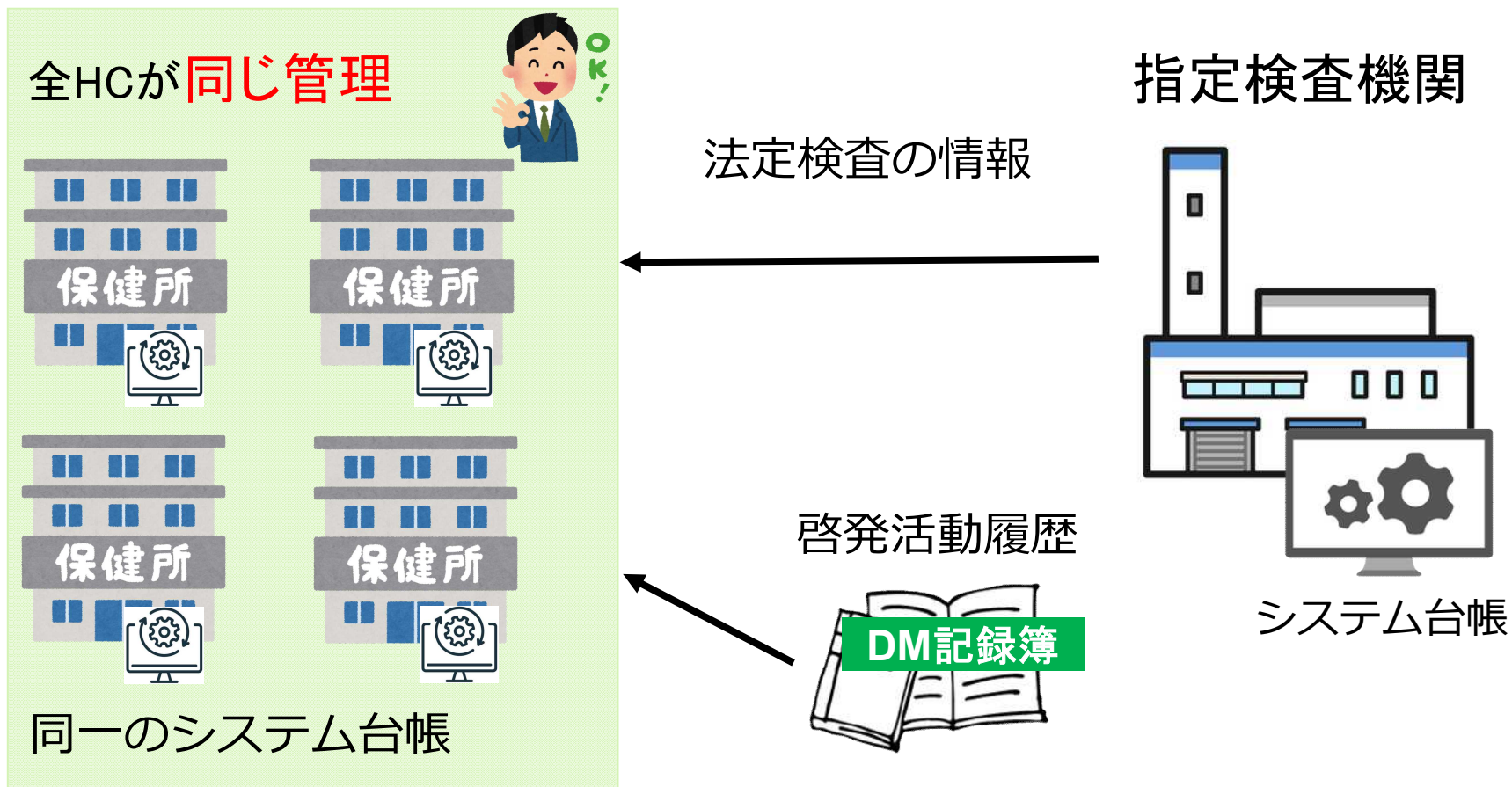
DM記録簿



事例2 浄化槽台帳管理マニュアルの制定

[目標]

適正かつ効率的な台帳管理

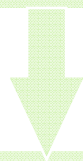


事例2 浄化槽台帳管理マニュアルの制定

[主な制定作業]

ポイント1 指定検査機関との連携

- 所有者が行政へ手続しない → 台帳の精度**低下**
- 法定検査情報を**取り込む** → 台帳の精度**向上**



指定検査機関と

- 台帳の**入力ルール**を**共通化**
- **情報共有**の**ルール**を構築



事例2 浄化槽台帳管理マニュアルの制定

[主な制定作業]

ポイント2 情報の取捨選択

- 過不足なく、必要な情報を台帳へ
- 正しい台帳の維持管理方法を文書化



[成果]

事例1 行政処分基準・登録監視要領の制定

令和4年10月3日 行政処分基準 制定

- ・ HC・関係団体へ通知、県ホームページ公開
- ・ 業者研修会にて周知

令和5年1月16日 登録監視要領 制定

- ・ HC向け説明会の開催

事例2 浄化槽台帳管理マニュアルの制定

令和5年3月29日 台帳管理マニュアル 制定

- ・ HC・指定検査機関へ通知
- ・ 台帳システムの導入整備

[考察・まとめ]

今回紹介した事例：以前の方法や結論でも間違っていない。

でも、手順書がないと…

- 重複作業
- ミスの誘発
- 個人差 など

▼
手順書の制定により解決



手順書を運用すると、時間に余裕が生まれ…

- より良い方法を発想
- 想定外の不具合を発見

▼
手順書を改訂し、より良い浄化槽行政を目指す。

御静聴ありがとうございました。

各HC

指定検査機関

手順書

生活環境課

